

JIS A 5548 タイプI **F★★★★**

JIS A 5557

JAIA 4VOC基準適合

Q-CAT Q-CAT型式認定品 C1型

タイル張り用弾力性接着剤 フレックスマルチ

内外装用タイルの張り付け施工用として開発された一液反応形の変成シリコン・エポキシ樹脂系接着剤です。硬化後はゴム状の弾力性を持つため、下地変形や熱膨張などによる応力を緩和します。セメント目地不要工法としてもご使用頂けます。



変成シリコン・エポキシ樹脂系接着剤

化学反応形無溶剤タイプ

指定可燃物可燃性固体類

容 量	包装形態	梱包単位
2kg	フィルムパック	9

用 途

適 用 箇 所		屋内及び屋外の壁面
適用下地	内装	モルタル、けい酸カルシウム板などのボード類
	外装	コンクリート、モルタル、サイディングボードなどのボード類
適用仕上り材		300角タイル以下、2kg以下/枚 注) 内装の場合は施釉タイルに限ります。

注) 空気の対流が少ない箇所で使用すると臭気が残る可能性があります。ご使用に際しては当社営業にお問い合わせ下さい。

標準使用量

2.0~2.6kg/m ²	0.3~0.5m ² /kg	0.7~1.0m ² /2kg
--------------------------	---------------------------	----------------------------

色 ※ここに示した色見本は現物と多少異なります。



性 質

外 観	マスチック状
主 成 分	変成シリコン・エポキシ樹脂系
張 付 け 可 能 時 間	5℃ 120分以内
	23℃ 90分以内
	35℃ 60分以内
硬 化 時 間 (目地詰め可能時間)	5℃ 3日
	23℃ 1日
	35℃ 1日

使用方法

【下地の確認】

- コンクリートやモルタル下地の場合
下地は、平坦・平滑に仕上げ、施工後2週間(冬期は4週間)以上養生し、よく乾燥していることを確認します。
- ボード類下地の場合
タワミのない厚手の合板またはボード類を使用し、目違いや目地あきのない下地とします。

【下地の調整及び清掃】

- 1.コンクリートやモルタル下地に凸部がある場合は、サンダー掛けやケレン処理により平滑にします。また、凹部がある場合は、MEベース又はモルタルで平滑にします。

チェック：詳細は各下地調整材の使用方法をご確認下さい。

- 2.モルタル下地のもろい部分やレイタンスなど接着阻害となる要因は必ず取り除いてからモルタル又は当社下地調整材で平滑にします。
- 3.下地面及び被着体のゴミ・ホコリ・油分・錆・塗料などは接着不良の原因となりますので取り除きます。

チェック： **接着不良の原因となる可能性がありますので、吸水調整材などは塗布しないで下さい。**

【墨出し】

割り付け図面に従って墨出しを行います。

【接着剤の塗布(クシ目ゴテ使用の場合)】

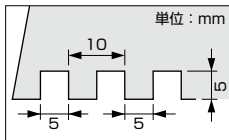
- 1.接着剤は平ゴテを用いて下地に押し付ける様に、均一に(5~7mm厚)塗布します。

チェック：1回の塗布面積は張付け可能時間内に仕上げ材を張り終えることのできる面積として下さい。



- 2.接着剤を塗布した後、規定のクシ目ゴテ(右図)でクシ山がcaすれないように塗布します。

チェック：厚塗り、薄塗り、塗布ムラなどは接着不良の原因となりますので注意して下さい。



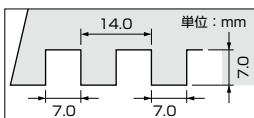
フレックス マルチ

3.セメント目地不要工法で施工する場合は、平ゴテでクシ目をならし均一な接着層にします。

チェック：・事前に試験張りを行い、有効接着面積を確認して下さい。

・接着剤が十分に付着しなかった場合は7mm角のクシ目ゴテを使用し、使用量を増やして下さい。

・セメント目地不要工法においてフレックスマルチの塗布厚が極端に薄い場合、露出する接着剤表面が白く変色する可能性がありますのでご注意下さい。



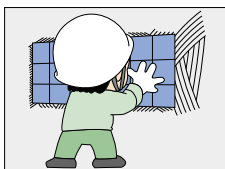
【仕上げ材の張り付け】

1.クシ目を立てた後すぐに仕上げ材を張り始め、張付け可能時間内に張り終えます。

チェック：張付け可能時間は環境により異なります。

2.仕上げ材は揉み込むようにして張り、裏面全体に接着剤がなじむようにピブラートなどで十分に圧着します。

3.仕上げ材を適宜剥がし、仕上げ材裏面に接着剤が充分付着している事を確認します。



チェック：・仕上げ材表面に付着した接着剤は硬化する前にシンナーなどを含ませた布で拭き取って下さい。

・目地直しは、接着剤が硬化する前に行ってください。

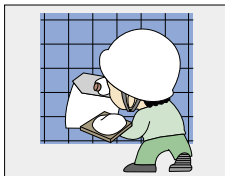
【養生】

施工完了後、接着剤を硬化させるために夏期1日以上、冬期は3日以上は外力が加わらないように養生します。

【目地詰め】

1.目地詰めを行う前に仕上げ材のズレがなく、また接着剤が硬化している事を確認します。

2.目地用ゴムゴテを用いて、目地部にセメント系目地材が完全に充てんされるように塗り込みます。



チェック：伸縮目地部や設備機器との取り付け部にはシーリング材を充てんしますので、セメント系目地材を塗り込まないで下さい。

3.仕上げ材表面に残った目地材はゴムゴテを用いて拭き取った後、湿したスポンジで拭き取ります。

4.目地材が乾燥した後、乾いた布で拭き取り、仕上げます。

【端部の処理】

伸縮目地部や設備機器との取り付け部には、シーリング材を充てんします。

チェック：シーリング材が硬化するまでは、ホコリやゴミなどが付着しないようにして下さい。

Q-CAT認定品施工の場合、(一社)全国タイル業協会・全国タイル工業組合発行「外装タイル弾性接着剤張り工事標準仕様書・同解説」を参考として下さい。

●掲載商品の一部内容を、品種の新設・改良・廃止などにより予告なしに変更する場合があります。

●本カタログの記載内容は、当社技術開発センターの資料を基に作成し、充分信頼し得るものと確信しております。しかし、現場施工においては、施工箇所の環境・使用材料・施工条件などが異なるため、全ての条件を満足するものではありません。確実な施工を行うためにも、施工前に確認試験をされますようお願いいたします。

取り扱い上の注意事項

フレックスマルチを取り扱う時は、下記の項目を守って下さい。

●**接着剤が完全硬化するまで臭いが残ることがあります。施工中だけでなく、施工後1週間程度空気がこもらない工夫を行って下さい。**

●**接着用途以外に、絶対に使用しないで下さい。**

●**品種の異なる接着剤や溶剤と併用・混合しないで下さい。**

●**5～35℃の環境で使用・保管して下さい。**

●**取り扱い場所及び作業場所は換気頻度を多く行って下さい。（施工中は窓を開け、施工後も日中は4～5日間、常に窓を開ける）**

●**可燃性があります。使用時・取り扱い場所では火気に注意して下さい。**

●**保管・使用時は「消防法」や「労働安全衛生法」などに従って下さい。**

●**接着剤は皮フに触れたり蒸気を吸入すると、健康障害や皮フ障害（カブレ）などを起すことがあります。使用時は保護具を着用して下さい。**

●**開封した接着剤は、できるだけ早く使い切ってください。**

●**直射日光の当たらない屋内に場所を定めて保管して下さい。**

●**子供の手の届かない所に保管して下さい。**

●**使用後や休憩前には、手洗いやウガイを行ってください。**

●**使用中に身体に異常を感じた時は直ちに使用を止め、換気のよい場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。**

●**目に入った時は直ちに清水で洗い流した後、医師の診断を受けて下さい。**

●**誤って飲み込んだ時は直ちに医師の診断を受けて下さい。**

●**皮フや衣服に付いた時は洗い落として下さい。**

●**誤飲防止と食品への混入を避けるために、保管場所は食品と区別して下さい。**

●**使用済み容器などは、許可を受けた産業廃棄物処理業者へ処分を委託して下さい。**

●**河川・湖沼・下水道などへ流入させないで下さい。**

●**ご不明な点は当社営業担当にお問い合わせ頂くか、安全データシート(SDS)またはカタログをご参照下さい。**

●**フレックスマルチをご使用になる前には、商品容器の表示事項をよくお読み下さい。**

■警告及び注意



可燃性あり



有害性あり



皮膚刺激性あり



火気厳禁



吸入注意



接触注意

株式会社 **タイルメント** 本社営業本部 / 〒453-0067 名古屋市中村区宿跡町1-58 TEL: 052-412-7321 FAX: 052-412-8900

東京支店 TEL: 03-3616-2201
FAX: 03-3616-3711
大阪支店 TEL: 06-6386-6141
FAX: 06-6386-6146

名古屋支店 TEL: 052-411-3511
FAX: 052-411-3516
札幌営業所 TEL: 011-717-5216
FAX: 011-717-5217

仙台営業所 TEL: 022-262-5751
FAX: 022-262-5753
横浜営業所 TEL: 045-242-7441
FAX: 045-242-8136

広島営業所 TEL: 082-231-1200
FAX: 082-231-7666
福岡営業所 TEL: 092-451-6503
FAX: 092-481-0621

北陸出張所 TEL: 076-237-7480
FAX: 076-237-6478

大垣工場 TEL: 0584-89-2225
FAX: 0584-89-2090
技術開発センター FAX: 0584-87-0010

タイルメント ホームページアドレス <http://www.tilement.co.jp>

関連企業

◆株式会社イズカ・タイルメント ◆TILEMENT (THAILAND) CORPORATION, LTD.

2001Mac09